

株式会社ヴィラージュ

企業概要

○所在地:兵庫県多可郡多可町中区戦治屋443-1 ○TEL:0795-38-7150 ○設立:平成26年11月4日 ○代表者:代表取締役 中元 誠
○従業員数:5人(平成30年6月現在) ○資本金:600万円 ○E-mail:info@virage.co.jp ○HP:http://virage.co.jp
●事業内容:平成26年11月に創業し、欧州クラシックカーのレストモッドを専門とする自動車整備会社
※レストモッドとは、回復を意味するレストア(restore)と、改造を意味するモディファイ(modify)をあわせた造語。クラシックカーに電動パワーステアリングを装着したり、新世代エンジンに換装する等、最新の自動車部品を付加する改造のこと。レストモッドすることで、クラシックカーの外観は残しながら最新の自動車技術を利用できる。
●主要生産設備:ウエット・ブラスト装置1台、ブラスト・ブース装置1式、3Dスキャナー1式、3Dプリンター1式

事業計画名

ウエット・ブラスト装置を利用した欧州基準の高品質クラシックカー試作車の製作

※ウエット・ブラスト装置とは、砂に水を混ぜて高圧で吹き付けることで表面を削る装置。自動車整備では、塗装のはく離、パーツ等の錆落とし、洗浄などで使用される



欧州基準(本物)の高品質なクラシックカー再生車を試作し当社の技術力のアピールを行う。またウエット・ブラスト装置を利用し、クラシックカー1台まるごと完全にかつ美しく改造・整備できる体制を整える。

取り組みの背景

当社が扱うクラシックカーは、日本でも根強い人気がある。しかし、国内では整備マニュアルの入手が困難で、ベテラン整備士の勘や経験に頼って修理してきたこと等により、複数のショップを回っても故障が改善されないという状況がしばしば生じている。そのため、クラシックカーはカッコいいけれど乗りにくく、一部のマニアのものであった。一方、最近若い世代を中心にクラシックカーに惹かれ、カッコよく、美しく、長く乗りたいと思うユーザーも増え、『最新技術が搭載されたクラシックカーを見たい!』という要望が当社に多く寄せられていた。しかしながら、試作車を保有していないため顧客ニーズを逃しているケースが多々あった。そこで、試作車の製作をする取り組みを行った。

取り組みの目標

- 最新技術を導入したクラシックカー再生車を試作
- 磨き工程の内製化の実現

取り組みの内容

クラシックカーに最新の技術を投入して整備・修理し、現代風に乗りやすくアレンジした試作車を製作した。具体的には、古いボロボロのクラシックカーを1台まるごと分解し、内部、外装・内装の全てを新車のように綺麗に組み立てなおす、「フル・レストア(完全な再生を意味する)」を行った。また、自社にウエット・ブラスト装置を導入し、磨き工程の内製化を実現した。従来からドライ方式による車専用ブラスト・ブースを設備し、塗装はく離を行っていた。しかし、小型・精密部品をブラストする場合、ブラスト・ブースを使用すると効率が悪い。また、ドライ方式で精密部品をブラストすると、部品を傷める可能性もある。そこで、小型・精密部品に関しては外注業者に依頼していた。しかし、外注することで外注費を要することや顧客の納期希望に対応できない。そこで、ウエット・ブラスト装置を導入し自社内で磨き工程の内製化を実現した。

同社の強み

当社は欧州クラシックカーのレストアを行う専門業者で、国内でも競合は少ない。事業領域・事業モデルに独自性がある。それを実現するための、高いプロ意識に支えられた丁寧な仕事や業界の常識にとられない発想力が強みである。

ポイント

最新技術を導入したクラシックカー再生車を試作



【試作車 ダブルシックス】

今回ベースとなる車に選んだのは、イギリスの自動車メーカージャガー製ダイムラー・ダブルシックスである。同車は、現在の日本において正確に直せるノウハウをもった整備士が少なく、クラシックカーの構造にかなり精通していなければ、新技術を導入しても中途半端な完成度に仕上がってしまう。したがって、当社の技術力のアピールに最適な車種と考えたため対象に選んだ。

試作車完成後は専門誌に取り上げられるなどし、当社の技術力のアピールにつながった。その結果、『一台まるごとレストアして欲しい』との依頼が増え、現在も数台のバックオーダーを抱えている。さらに、若手技術者にとって貴重な経験となり、彼らの技術力の向上に寄与した。

ウエット・ブラスト装置を導入し、磨き工程の内製化を実現

自動車部品の頑固な汚れや錆を取り除き、表面を研磨する作業が必須である。手作業では研磨に掛かる時間も莫大であっ

た。外注する場合も、外注先の都合が優先され、当社の希望納期に間に合わない場合も多かった。しかし、磨き工程を内製化したことで顧客の希望納期に応じられるようになった。さらに、一般的な自動車では許されるような自動車内部部品の汚れや錆も、高価なクラシックカーでは許されない。磨き工程を内製化したことで、徹底的なブラストが可能になった。それがひいては、顧客の当社への評価につながっている。さらに、磨き工程を内製化したことによって、年間100万円以上の外注費の削減が実現できた。



【磨き工程の内製化を実現したウエット・ブラスト装置】

社長の声



株式会社ヴィラージュ
代表取締役 中元 誠氏

本物のクラシックを日常の足に

誰が見ても魅力的なクラシックは、街の中を走っている時が一番美しく見えます。それを実現するために安心して乗れるものに仕立て上げることが当社の取り組みです。今後は日本の技術力や、メンタリティーを最大限盛り込み、海外にもアピールしていきたいと考えています。兵庫県中小企業団体中央会様を筆頭に各関係会社様のご協力無しには実現できなかったことであり、今後も兵庫県中小企業団体中央会様やご協力いただいた業者様皆さまが誇れるような自動車をプロデュースしていく所存であります。